

今年もあと一ヶ月

早いもので今年もあと一ヶ月となりました。1年生は、小学生から中学生になって背丈も大きくなり、心の面も成長してきました。2年生は、先輩としての自覚ができて後輩の面倒をみたり、後期に入り行事等も先頭に立って引っ張ったりしています。3年生は、最高学年として学校生活を落ち着いた様子で送っています。各学年とも令和3年度的美濃加茂中学校の生徒としての生活ができていないのでしょうか。

さて、新年を迎える前に自分自身を見つめ直し、残り一ヶ月でやり残したことはないか、まだ足りないことはないかなどを考えて、やれることがあるならすぐに行動に移しましょう。今後の自分にとって、大切な一ヶ月となるはずです。

11月の様子

<写生大会（11月1日）>

秋晴れの温かい日差しの中、今年度も清流里山公園で写生大会を行いました。各学年指定された場所で、『秋』をテーマに描いていました。美術の時間で練習してきた成果を存分に発揮できたことでしょう。美術担当の古田先生にも、下書きのポイントや色の構成などアドバイスをしていただき、生徒達には参考になりました。早く完成してしまった生徒や、下書きに時間をかけ過ぎて仕上げるができなかった生徒など様々でしたが、自分なりの『秋の気配』を上手に描いていました。



<球技大会（11月11日）>

体育祭の代替に球技大会（キックベース）を行いました。コロナウイルス感染症対策をし、クラス2チームに分かれ、学年を越えて対戦しました。1年生にとっては、2、3年の先輩たちとの交流でドキドキ、ハラハラしたことでしょう。秋空のもと、元気な姿が見られました。



《結果》・・・ 総合優勝 3年1組 準優勝 2年2組 3位 3年2組

<薬物乱用防止講座（11月15日）>

保護司の森弓子先生他2名の方から『薬物乱用 ダメ・ゼッタイ』のテーマで薬物の恐ろしさについて、様々な例を挙げて話していただきました。講演の終わりには、『薬物乱用 ダメ・ゼッタイ』を呼びかける体操を中学生・高校1年生の生徒で行い、薬物の恐ろしさをしっかり「脳」に焼き付けることができました。

自分を変えようとするのが人間

以前、読んだ本（「あり方、生き方を考えるいい話」）にこんな話がありました。

『人間は他人から見られる自分を意識するから、今よりも立派になろうと努力するのです。それが人間社会の文化を創ってきた原動力だと思います。』

だいたい評価とは他人が自分に与えてくれるものです。自己評価も大切ですが、この世の評価はたいいて他人がつけてくれているのです。評価と言っても、学校の成績だけではありません。「あの人はいい人だ」「あの学校の生徒はしっかりしている」というものは全部評価です。人間社会は評価、評判によって信頼したり、信頼されたり、持ちつ持たれつで成り立っているのです。自分が一人で反省すればそれで充分というものではないのです。

鏡に映る自分を見て自分の身だしなみを整える、これが文化です。そうした文化を深めていって、人間は心にも鏡を持つことができるようになったのです。人間の反省とはそういうことを土台としています。

心に鏡を持たない人は動物並です。そういう人は社会人として、また人間として、どこかに欠陥があるのではないのでしょうか。私はこのように考えます。』

作者は、最後の段落に強烈な言葉を残しました。それだけ、「人間としてのあり方」を考えているのです。みなさんはどう思いますか？心に鏡を持っていますか？甘い自己評価ばかりしていませんか？まわりの人にどう映っているか、まずは心に鏡を持ち、自己を見つめ、周りの人の評価も考えてみてください。



12月の行事

日	曜	学 校 行 事	日	曜	学 校 行 事
1	水	後期中間試験（11/29～）	16	木	保護者懇談会（～22日）
2	木	追試（中・高：～6日）	20	月	再試（～22日）
4	土	土曜補習	23	木	集会（5限目）、HR・清掃（6限目）
6	月	親から子へのメッセージ（1年生）	24	金	冬季講座（～1/6まで）
11	土	入試直前講座、個別相談会②	25	土	土曜補習
13	月	日本の伝統文化講座②	28	火	冬季講座年内最終日

★1月4日（火）冬季講座再開

保護者の皆様へ

- ・12月16日（木）から保護者懇談会を実施します。お忙しいと思いますが、万障お繰り合わせの上ご出席くださいますようお願いいたします。詳細は、担任より連絡いたします。
- ・コロナウイルス新規感染者が減少していますが、収束には至っておりません。三密、手洗い、マスクの着用をご家庭においても奨励してください。
- ・インフルエンザ流行の時期となりました。規則正しい生活（早寝、早起き、朝ごはん）を送り、感染に注意してください。